



リングリングプロジェクトを訪ねて⑩

平城宮跡で借りて乗り捨てできるレンタサイクル 「財団法人日本自転車普及協会」

今年の注目行事の一つと言えば、平城京への遷都から1300周年を記念して開催されている「平城遷都1300年祭」。そのメイン会場である平城宮跡で、4月24日よりレンタサイクルが実施されている。

これは、「財団法人日本自転車普及協会」が平城遷都1300年記念事業協会と協力して取り組む「環境にやさしい自転車利用啓発事業」。健康や環境への意識が高まり、自転車ブームとも言える状況の中で、観光地でのレンタサイクルの使いやすしい形を調査研究する試みである。

財団法人日本自転車普及協会は1971年、自転車が果たす社会的役割を広く一般に啓発していくことを目的に設立された。その活動内容は広範囲にわたり、自転車を安全かつ快適に利用できる環境づくりを目指したバイコロジ運動の推進や自転車の展示や



↑返却場所や観光名所が一目でわかる、レンタサイクルマップ。おすすめコースのほか表面にはスポットガイドも載っており、これ1枚で自転車観光を存分に楽しめるようになっている。



←自転車の前カゴには平城遷都1300年祭公式マスコットキャラクターのせんとくん。

情報提供などを行う自転車文化センターの運営、国際自転車競技連合公認のステージレース「ツアー・オブ・ジャパ」の開催なども手がけているという。同協会事業部事業課長の神田義谷さんは、平城遷都1300年祭で実施しているレンタサイクル事業について、こう話してくれた。

「奈良では、観光シーズンにはかなり渋滞が発生しますが、イベントがあるところさらにひどくなります。そのため平城遷都1300年祭では公共の交通機関を使うよう呼びかけているのですが、ここに自転車を組み合わせれば、いろいろ回っていただけるのではないかと考えました。その際、借りた場所とは違う場所でも返せる、乗り捨てのできるレンタサイクルであれば、電車などで来られた方に便利に使っていただけるのではないかと考えました」

サイクルポートのほか、近鉄奈良駅の奈良自転車センターと大和西大寺駅の西京自転車センターの計4か所が返却が可能。出発地点にわざわざ戻る手間や時間が省け、効率よく観光を楽しめる。

「利用者はご家族連れや中高年の夫婦が多いのですが、おおむねご好評をいただいております。3〜4時間ほど利用されてから返却される方が多いです」ということだが、その半数程度が駅近くの自転車センターで返却。この乗り捨てシステムを大いに活用していることがうかがえる。

「自転車は環境にやさしい乗り物というだけでなく、歩くには面倒な距離にも気軽に行けますし、乗りながらいろいろなものを発見でき、好きな場所でサッと止められます。そうした自転車の特性は、町の活性化にもつながっていくでしょう」

奈良は、数多くの歴史的文化遺産や豊かな自然が町のあちこちに散らばっている。また、古い町並みのため、車では行きにくい場所も多い。渋滞や一方通行に関係なく、自分のペースで好きな場所に行ける自転車は、まさにうってつけの移動手段。さらに、自転車に

よって地元経済が発展する可能性もあるという。そこで、同協会では利用者にはアンケートを配布し、利用の動機や感想のほか、周遊ルートや消費金額などについても調査。データを揃え、レンタサイクルが町の活性化やよりよい環境づくりにつながるよう貢献していけるかを分析していくそうである。「アンケートにはみなさん答えていただいています。結果はまだ出ていませんが、今後、導入を検討されている自治体などに、自転車は健康や環境にいいという抽象的なメリットだけでなく、具体的な効果もお伝え



平城宮跡会場の交流広場にあるレンタサイクルポート。1日の利用料金は普通タイプの自転車700円、電動アシスト付自転車1,000円とリーズナブル。

していきたいらと思っています」

神田さんは自転車の利用促進だけでなく、町の活性化にもつながる事業を実現することができました。今後はこのまま、地元の方が引き継いで通年営業していただけるようにもなれば、より嬉しいですね」とも語ってくれた。平城宮跡でレンタサイクルが利用できるのは、8月31日まで。歴史ある土地で、未来への夢を乗せて走るレンタサイクル。機会があれば、その乗り心地を体験しに奈良へと足を運んでみてはどうだろう。

(文・長谷川英子)



自転車はすべて、協賛団体からの寄付。普通タイプと電動アシスト付自転車、合わせて83台が用意されている。最新型の自転車が揃い、人気の電動タイプを試してその良さを実感する人もいるのだとか。

競輪マークみつけた

（社）組込みシステム技術協会

耳慣れない「組み込みシステム」という言葉ですが、組み込み技術は、携帯電話や自動車などに組み込まれているコンピュータを使う技術のことをいいます。コンピュータ技術の高度化・縮小に伴い、その使用範囲が拡大している非常に大切な分野です。先だつて行われたET2009（組込み総合技術展）では、競輪の補助金で設けられた、組込み技術者の技術スキルを計る試験の簡易版を体験できるブースが展示されました。



「想いが、つながる 笑顔が、生まれる」競輪・オートレースの補助事業「RING!RING!プロジェクト」<http://ringring-keirin.jp/>